



はこだて

キャンパスプレス Hakodate Campus Press



Vol. 2

8 高等教育機関学生懇談会 開催！！

平成17年9月29日木曜日、函館市役所8階大会議室において、史上初の「8 高等教育機関学生懇談会」が開催されました。懇談会に出席したのは、公立はこだて未来大学（以下、未来）の村山幹朗さん、谷未咲さん、函館大谷短期大学（以下、谷短）の村松たかよさん、澤田真梨子さん、函館工業高等専門学校（以下、高専）の福士ありささん、北川貴博さん、函館大学（以下、函大）の佐藤幹弘さん、山田麻里奈さん、函館短期大学（以下、函短）の田中裕子さん、渋谷幸さん、北海道教育大学函館校（以下、教育）の阿部安子さん、工藤みさきさん、北海道大学水産学部（以下、北大）の菅原史侑さん、藤井陽介さん、ロシア極東国立総合大学函館校（以下、極東大）の板橋史展さん、茂木知佳さんの16名です。

大学連携に期待することや各校の特色など、函館高専の山田誠先生の司会で懇談会を開催しました。

※以下、記事、敬称は略させていただきました。



高専祭開催

〈10月15、16日開催〉

今年の高専祭は”LOVE”をテーマとして行われました。学科展示等での日頃の学習成果披露(写真)、雨中での花火大会など様々な催しがありました。

今年初めての試みとして、学生が自由な発想で課題に取り組む企画『第1回学生課題研究コンペティション』通称”プロジェクトゼロ”(無限の可能性ゼロからの出発)が行われました。

これには、3チームによる次の内容での研究発表があり、それぞれ特徴のある発表で会場を沸かせてくれました。これからの活躍が楽しみです。

- ☆『五稜郭公園の発掘から函館の幕末を探る』(埋蔵文化研究会)
- ☆『函館元町立体観光 360度パノラマ写真が見れるHP作り』(チーム2J)
- ☆『クレイアニメの制作』(チーム2C)



2005高専ロボコン「大運動会」開催

〈10月23日開催〉

2005高専ロボコン北海道地区大会が函館高専体育館で開催されました。今年のテーマは「大運動会」で、各校全国大会を目指し競い合いました。

会場には415名の観戦者があり熱気に包まれた大会となりました。函館高専は...来年の活躍に期待してして下さい。



連携事業・単位互換に期待は大！しかし課題も。。

司会: 今、8つの学校が集まってみんなで力を合わせて魅力ある学校を作っていこう、そして、できるだけ函館に残ってもらおうということで、色々検討しているわけで、この学生懇談会もこういう活動の一貫なんです。それで、単位互換という、高専の学生が教育大で講義を受けて、それが自分の単位となるような制度とか、各校の自由な行き来ができるようにしようとか、そういうことが昨年から動き始めているんですが、高等教育機関の連携について学生として期待することはありますか。

北大 藤井: 函館市は単科大学が多くて、専門性の高い大学が揃ってひとつの総合大学が形成されるのは、非常にいいことだと思います。お互いのやっている専門のことが、良い刺激になるとと思います。

高専 北川: 学校祭など一緒にできれば、すごい盛り上がり楽しいんじゃないかと思います。学校同士の距離が遠いので、何をやるにしても、ちょっと厳しいかなあという面もあると思いますけれども。

教育 阿部: 距離が遠いから授業を受けに行くのは難しいとは思うけど、自分のゼミや卒論のことで、他の大学の先生にお電話で聞いているんですよ。卒論やゼミを共同でできればいいかなと思います。





ХАКОДАТСКИЙ ФИЛИАЛ ДАЛЬНЕВОСТОЧНОГО ГОСУДАРСТВЕННОГО УНИВЕРСИТЕТА

ロシア極東国立総合大学函館校

FESU 専修学校 ファーイースタンステイトユニバーシティ 函館校

〈所在地〉 040-0054 函館市元町14-1
〈TEL〉 0138-26-6523 〈FAX〉 0138-26-0342
〈E-mail〉 info@fesu.ac.jp
〈URL〉 <http://www.fesu.ac.jp/>

ロシア極東国立総合大学函館校では教室での授業以外にも、様々な現場でロシア語を使ったりロシア人との交流を深める機会があります。それは実践を通して語学力をつけることはもちろん、人として国際感覚を身につけるチャンスでもあります。

この夏行われた二つの事業のほか、日常的に市民交流のお手伝いや通訳のアルバイト等を頼まれることもしばしば。即戦力を問われる場面で自分を試すことができます。

日露修好150周年記念回航事業

日露通好条約締結から150年にあたる今年、日露青年交流センター主催による回航事業が行われました。これは将来を担うべき日露の青年約150名がひとつの船に乗り、ウラジオストク・函館・下田というゆかりの地を巡りながら日露関係の重要性を考え、相互理解を深めようとするもの。

函館に入港した時には本校の学生全員がボランティア通訳として活躍。旧ロシア領事館や函館ハリストス正教会など歴史的に結びつきの深い場所をロシア語で説明、案内しました。



北方四島交流青少年受入プログラム



北方四島に住む子どもたちがビザなし交流で根室を訪れました。その時のお手伝いとして本校からも2年生から4年生まで、5名の学生が参加、一緒に寝泊りしながら日本文化の紹介やスポーツ交流のほか、北方四島の未来を描く共同制作などを行いました。

また、その時の動きが認められた学生が、夏休み中に色丹島のビザなし交流に招待されるなど、ほかでは経験できない貴重な体験をすることもあります。

函短 田中：他の学校の専門についても興味があるので、こういう連携事業で知識を得ることができて、友達が増えるということを期待しています。

谷短 村松：少しずつでも影響しあいながら、みんなでいい方向にいけたらいいなあと思います。うちの学校は小規模なので、興味がある分野は取り入れたいと思います。

極東 板橋：うちの大学も小規模なんですけど、専門は語学で、他にロシア経済やロシア地理などロシア関連の教科や一般教科も学んでいます。でも、外国の大学の日本校は、ロシアの国立大学の学士は取れるけど、日本国内では大卒の資格がとれないんです。

函館に来たとき、高校生まではたくさんいるけど、大学生が少ないと思いました。学校同士の交流があれば友達も増えると思います。あと、函館に仕事があればもっと若い人たちが残ると思います。

司会：今言われたように、函館に就職の受け皿をという、重要な問題ですよ。そういった面も含めて、解決できていけばいいなあとも思いますね。



〈所在地〉 042-0955 函館市高丘町52-1
 〈TEL〉 0138-57-1800 〈FAX〉 0138-59-5549
 〈E-mail〉 hakotan@hakodate-u.ac.jp
 〈URL〉 http://www.hakodate-jc.ac.jp/

短大の資質が問われる第三者認証評価

国は2004年度に、全国の大学・短大に対して、認証機関による外部（第三者）からの評価を受けなければならないと決めました。この評価では7年に1回審査を受けるように定めており、2010年度までには全国の大学・短大が初回の認証評価を受けることとなります。審査の内容としては、教育、経営の基本的なことはもちろん、各校の個性・特色が発揮されているかや、経営理念が教育に活かされているかなど多岐にわたります。この評価により大学・短大の資質が問われることとなります。

函館短期大学はいちはやく審査を受けるべく申請し、2005年7月までに必要な書類や資料を揃え評価委員へ報告書を提出、2005年10月14日～15日には評価委員4名が来校し審査が実施されました。今回の評価結果は来年3月に評価委員から提出される予定です。

函館短期大学では以前から自己点検評価委員会による短大自身での点検と改善を行っていました。今回の第三者認証評価を受けたことにより、外部からの評価が加わることとなります。

今後は、第三者認証評価の結果を踏まえて教育・研究の質を向上し、魅力ある短大づくりを進めていく方針です。そして受験生はもとより道南地域の方々から信頼される短大を目指します。



平成17年4月28日函館新聞より

課題は学校間の距離？

未来 村山：単位互換制度は、他にもいろいろ学びたいことはあるので、素晴らしい制度だと思いますが、交通が不便なので難しいかなと感じました。それと今回この会で他の各校の学生と交流できていますけど、他の学生は全然知らないの、学校全体と一緒に交流できるような、学生全体を巻き込めるような交流をやって、友達を作っていけば、函館に残りたいと思う方も出てくるのではないかなと感じました。



函大 佐藤：皆さんと同様に、他の大学との関わりが少ないということを感じていて、函大と函短は向かいにあるけど交流があまりないんです。これをきっかけに皆で各学校の得意分野を生かした研究をして、函館市からも予算を出してもらって、何かをできたらいいんじゃないかなあと、ちょっと期待しています。

司会：学校間の交流があまりなくて、お互いのことが確かにわからないですね。でも、あそこに行けばこんなことできるということがわかるようになれば、またこれは素晴らしいことだなあと感じますね。学生の皆さん、連携に期待するところは大きいかなあという気がしますね。

高専 福士：各学校にある学校バスを利用して、各学校を回れるようにしてほしいと思います。



〈所在地〉 041-0852 函館市鍛冶1-2-3
〈TEL〉 0138-51-1786 〈FAX〉 0138-52-6494
〈E-mail〉 info@hakodate-otani.ac.jp
〈URL〉 http://www.hakodate-otani.ac.jp/

本学は、コミュニティ総合学科、幼児教育科、（平成18年度より『こども学科』へ名称変更予定）の2学科があります。幼児教育科には専攻科（福祉専攻）があります。



まず、コミュニティ総合学科ですが、2年生は今就職活動で精一杯の様子です。この9月は学校の前期期末試験と公務員等の試験が重なってかなり大変な様子です。

1年生は、毎年恒例となりました、夏の『野外劇』への出演が無事終了し、また期末試験も終わりホッとしているところでしょうか。

本学では1年生の9月から『就職対策特別講座』を始めています。少々早すぎる感がありますが、4年制大学で考えると3年生の後期（卒業の1年半前）ということになり、決して早すぎることはないのです。

次に幼児教育科ですが、2年生は今、『幼稚園実習』に出向いております。今まで教室で学んだことを精一杯生かして、実習をしています。丁度この時期は、就職時期とも重なり、かなりハードなスケジュールをこなしている学生もいるようです。その点1年生は、春先に行われた幼稚園実習も終わり、次年度に来る本格的な実習に向けて勉強中といったところでしょうか。専攻科に関しましては、夏場に約1ヶ月もの『介護実習』を行ったばかりなのに、今度は『訪問実習』に出向いております。さらに11月末からは2度目の『介護実習』が始まります。

また、全体的な行事としては、10月26日（水）～27日（木）の2日間で、学校祭・スポーツ大会を行いました。初秋は、その準備で大忙しの毎日でした。特に幼児教育科の学生は、実習と重なり大変過密なスケジュールの中を準備するのが毎年の恒例となっています。毎日学祭での出し物を練習している音が校舎に響きます。



函館には、いろんな高等教育機関があります。

水産はサイエンスだ！～北大水産学部



北大 菅原：水産学部って漁師のイメージがあると思うんですよ。でも、水産をサイエンスと見るということと、地域ということも考えつつ、水産という産業をいろいろな面から見ようとしているのが水産学部だと思います。特徴的なことは、食品も扱っているんで缶詰工場があります。

実際に捕った魚を缶詰に加工する実習もあって、専門分野を極めつつ、エコということから、

魚を捕る、作る、そして無駄を無くすというつながりが学生実習のときからあるのがいいと思います。

未来 村山：作った缶詰はその後どうするんですか。

北大 菅原：食品は味が大事なので試食をします。

高専は高校？大学？～函館高専

高専 北川：私は、今、機械工学科という学科で、機械のことを学んでいます。機械って、これだというものがないと思うんですよ。エンジンであったり、電気回路であったり、情報処理だったり、それぞれ単体ではなくて、すべて含めて機械が成り立っています。今卒論で、制御についてやっているんですが、非常に楽しくやっていますね。でも、学生について



合同公開講座「食」

9月3日～10月29日までの毎週土曜日（10月1日除く）に函館東高校で「食」をテーマとして、合同公開講座を開催しました。延べ300名の方にご参加いただき大変好評でした。

「食」というひとつのテーマで、8校の先生方が様々な角度から、最新の研究成果なども含めてお話をしました。



3校（未来大、教育大、高専）合同世界物理年記念事業 「100年前アインシュタインは考えた?!」



と題して、10月1日（土）に函館高専で、実験と講演会を開催しました。「相対性理論」「光電効果」「ブラウン運動」の実験と、国際基督教大学から北原和夫教授をお迎えして講演会を開催しました。



（高専 北川 続き）：言えば、大学生に比べると甘えがあるような気がします。

高専 福士：高専は中学校卒業した後に入るので、高校で3年間を過ごすのに高専は5年間、高校の延長で、甘えがでるのかなと思います。自分で目標を持たないと、実感が得られないというイメージがあります。

北大 菅原：甘えて、どういうことなのか、お聞きしたいです。

高専 北川：単位の話なんですけど、単位は授業を受けて、それでテストで合格点を取れば単位合格ですよね。一般的な大学は、単位不認定になる場合があると思うんですけど、うちの学生は学年制なので…

未来 谷：学科同士の交流はありますか。

高専 北川：5学科とも仲がよい学年もあります。学年によります。

就職先は教員だけじゃない！～教育大学



教育 工藤：来年、大規模な再編成をするんですけど、どういうふうに変更していくのが、学生に見えていないところがあって、学校は皆で作っていくものだから、もっと学生に広まるように学校自体も取り組んでいかなければいけないんじゃないかなあって私達は思っています。

関 連 携 函 館

様々な連携事業が始まっています。

合同企業セミナー I N函館

学生のみさんの就職活動の支援も連携して実施しています。各大学と関係のある企業が出展します。学生は自分の大学と繋がりのない企業の就職担当者と直接お話することができ、就職機会を増加させることができます。



合同説明会開催

はこだてキャンパスプレス創刊



はこだてキャンパスプレスは、平成17年5月に創刊されました。上図は、はこキャンのロゴマークで、Campusの「C」とPressの「P」を組み合わせています。また、Pの中の星形は五稜郭を、Pの形は函館の地形をイメージしてしています。



北大大学院
全15回から
函大谷短大に講師派遣
海洋や水産テーマに

北大大学院は、函館地区の各大学・短期大学・専門学校に、海洋や水産に関する専門知識を伝えるため、全15回の講師派遣を実施しています。北大大学院の教授・准教授・助教が、函館地区の各大学・短期大学・専門学校に、海洋や水産に関する専門知識を伝えるため、全15回の講師派遣を実施しています。

北大大学院の教授・准教授・助教が、函館地区の各大学・短期大学・専門学校に、海洋や水産に関する専門知識を伝えるため、全15回の講師派遣を実施しています。



北大・大谷短大へ講師派遣

平成17年11月19日北海道新聞より

教育 工藤：いい所は、教育大学なので教員を目指して来る人が多いんですが、OBやOGが相談に乗ってくれます。他の学校でも、教員免許を欲しいという話も聞いてて、協力できれば良いんじゃないかなと思います。

最近、一般の企業に就職したいという人も増えているので、そこで協力してもらえたらと思っています。

未来 村山：教員以外はどんな企業に就職するのですか。それと函館の教育大学の特色を教えてください。

教育 阿部：私は総合四課程の中の情報社会教育に属するんですが、この課程では、民間企業が主で、少数派が教員という割合になってます。函館校の特色は、情報があるのでシステム関係の会社に就職したり、国際理解もあるので、旅行関係のような民間会社にも就職しています。

100人分の屋食!! ~函館短期大学

函短 田中：函館短大は主に栄養士の資格を取る勉強をします。そのほか、夜間の調理学校に通うことで、調理師の資格も取れます。ホームヘルパーの資格や中学校の家庭科の先生になれるコース、食べることだけではなくて、スポーツ栄養コースがあって、ダンスインストラクターなど、スポーツを指導する資格も取得できます。頑張れば、やりたいコースを全部とって卒業できるようになっています。





愛知万博へ出展 ロボットミュージカル大好評！！

今年の国内最大イベントであります愛・地球博（愛知万博）に当大学院生を中心とした研究チームが、民間企業と共同開発したミュージカル仕立てのロボットのデモンストラーションを企画、実施しました。

万博会期中の6月9日から19日にかけてのロボット週間において、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）のパビリオンで開催された「プロトタイプロボット展」で日本全国から集められた65種類もの次世代実用化ロボットの展示のほか、人間とのコミュニケーションが可能で、移動や会話、人物の識別ができるロボットがメインのステージが行われました。



本学のプレゼンテーションでは、函館山の夜景や五稜郭公園など、函館市の紹介に始まり、着せ替えパペットロボットが、「マツケンサンバ」や「よさこいソーラン」などを踊ったり、羽を付けてもらって喜ぶロボットの姿に、会場を埋めた観客から「かわいい」といった声援を受けるなど大好評でした。



また、この熱いステージを函館でも、との要望に応え、7月7日、大学内において同様のデモンストラーションを実施しました。さらに、10月1日・2日にはサンリフレ函館で開催された「はこだて・シー・コンベンション～アカデミックフォーラム」でも同様のデモンストラーションを実施し、多くの市民の皆さんで賑わいました。

（函短 田中続き）：今日は実習で100人分の昼食を作ってきました。これは具体的な栄養士の業務を知ることができるので、みんな実習を楽しみにしています。

高専 北川：男性の方はいらっしゃるんですか。

函短 田中：2学年は男性は10人程度で、栄養に対する熱意は女子と変わらないくらいすごいです。

高専 北川：高専の学校近いじゃないですか。それで、僕らの学校はどういうイメージなのでしょう。

函短 田中：ずっと高校だと思ってたんです。でも今日いろいろ話を聞いて、そうではないとわかりました。

新しい学科です。～函館大谷短期大学

谷短 澤田：私達はコミュニティ総合学科という、去年新しく出来た学科で、どんなこと勉強するのって聞かれるんですけど医療事務とかパソコンやヘルパー、秘書、カラーコーディネーター、簿記、いろんな資格がとれます。それと、幼児教育科がありまして、保育士になりたい人がいます。

みんな結構仲良しなんですけど、学校祭はすごい地味で、他校から人、呼べないんですよ。すごい寂しい。

未来 谷：大谷短期大学は女子だけなんですか。

谷短 澤田：男子も数名います。



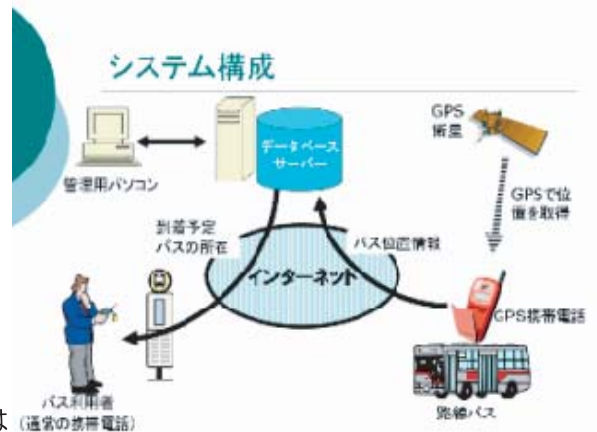


U-20プログラミング・コンテスト優秀賞受賞！

IT専攻塾のU-20プログラミング・コンテスト参加チームが携帯電話のGPS機能を利用した、路線バス情報配信システム「バス参る、」を開発しました。

このシステムはバスに載せたGPS携帯電話によりバスの位置情報を収集し、これを基にバス利用者へ運行状況を配信するシステムです。バス利用者は、インターネットが使える携帯電話やパソコンがあれば、どこからでもバスの到着予定時刻と現在のバス位置情報を知ることができ、バスが到着するまでの時間を有効に活用できます。

IT専攻塾がU-20プログラミング・コンテストに応募するのは昨年に続いて2度目で、今回初めて優秀賞を受賞しました。



現在函館市で利用しているバスロケーションシステムより、サービスエリアが広くさらに低コストでもあるため、実用に向けて今後もさらなる改善を続けていく予定です。



※ U-20プログラミング・コンテスト

<http://www.jipdec.jp/procon/>

「高度なIT人材の早期発掘」という趣旨で、若い方々の自由な発想と優れたプログラミング能力に基づいた作品を審査して、今後のIT社会に貢献する優秀な人材を発掘し奨励するコンテスト。



平成17年度入選作品は、<http://www.jipdec.jp/procon/05nyusen.html>をご覧ください。

欧米式で実力がつきます！留学もします。～極東大学

極東 茂木: ロシア極東大学は、ロシア語を中心として学んでるんですが、2年制のロシア語科は、2年生の時に1か月間ウラジオストク本学の寮に入ってロシア語を学びます。4年制のロシア地域学科は、3年生のときに3か月間行きます。4年制はロシア経済とか文学、文化史なども学んでいます。学生は、年齢層が厚いので、すごく視野が広がると思います。

極東 板橋: 受験は書類審査と面接ですが、入ってからがきつく出口は狭い、完全に欧米式の大学です。

教育 阿部: ロシア語はすごく難しいと聞くんですが、2年制の方でもすごく話せるようになるんですか。

極東 板橋: それは本人しだい。すごく勉強する人はほんとにもう寝る間も惜しんで勉強するんです。

教育 工藤: 就職先は。 **極東 板橋:** 基本的には水産会社とか、旅行会社、あと貿易関係ですね。

学生全員がPCを持っています。～未来大学

未来 谷: 未来大はシステム情報科学部という学部で、その中に複雑系科学科と情報アーキテクチャ学科があります。

「サマースクールin函館」



「サマースクールin函館」は1997年から始まった障害児の余暇支援プログラムです。障害児の放課後・長期休暇の活動支援を目的に、「子どもたちに楽しく充実した夏休みを提供しよう」と考えられたのがこの活動で、基本的には障害児のためのボランティア活動ですが、学生・社会人・子ども・保護者のそれぞれが学びあう場ともなっています。また、家族に休息の時間や他のきょうだいと過ごす時間を作ってもらおうというねらいもあります。学生が中心となって、地域の専門機関や専門家などの社会人の方々のサポートの下で、様々な社会体験的な活動を行っています。

この活動も今年度で第9回を迎え、近隣の七飯町や上磯町などでもサマースクールが立ち上がり、「地域」の活動として根付いてきたと感じています。今年の参加児童生徒は90名、学生ボランティアは164名、社会人ボランティアと保護者ボランティア約90名で、一丸となって活動を進めてきました。保護者からのニーズが高く、私たちも大きなやりがいを感じています。今後もこのサマースクールが広がっていき、活動が継続していくことを期待しています。

西村祐紀(北海道教育大学4年生)

じろじろ大学「夏の学校」

じろじろ大学とは、市民団体『元町倶楽部』が「じろじろとものを観察することで、まちの良さや可能性を再発見しよう」というコンセプトのもと、誰でも入学できる大学をイメージした組織で、北海道教育大学の活動がこのコンセプトに沿っていることからその一端を担わせてもらうことになりました。

この活動はまちを舞台にした体験型の学習プログラムですが、ここでは、枠に縛られない自由な学びの提供を目指し、子どもも、大学生や大人も一緒に学び合いながら疑問を解決していきます。また、子どもたちが、まち歩きや体験活動などを通して自らの五感で「まち」を感じ、そこから興味・関心のあることや課題を発見し、それについて考えたり、調べたりするプロセスを大切にするとするのも特徴の1つです。

今回で3回目を迎えましたが、今年はテーマを『まちのたからもの』と設定し、8月4日から7日までの4日間の日程で、西部地区を活動の場として実施しました。まち歩きや様々な体験活動、まちをよく知る市民の方の話を聞くなど、参加者全員が『まちのたからもの』について考え、調べ、その結果を絵本にし、そうして出来上がった32冊の、世界に一つしかない絵本を最終日に参加者・保護者の前で発表しました。



山崎拓郎(北海道教育大学3年生)

(未来 谷続き)：複雑系科学科は複雑な現象を数学とコンピュータで解析したり、情報アーキテクチャ学科は知的システムコースと情報システムコースと情報デザインコースがあります。男女比としては男子が8割、女子が2割位です。特徴としては、インターネットを介した授業がありますので、入学時にノートパソコンを買います。それと公立なので「函館に残って」というのをひしひし感じます。

教育 阿部：飛び級制度があると伺ったのですが。

未来 村山：3年生が終わった時点で退学して、大学院に入るという仕組みがあります。

北大 菅原：未来大は校舎が綺麗ですが、図書館はどうですか。図書館にみんな入れる環境ってすごい面白いんですね。そこからお互いを知ることができる思う。

未来 谷：私が未来大に決めた決定打は校舎です。勿論中身も重視したんですが、全面ガラスばりで、図書館もガラスばりで。一度、見ていただけたらと思います。

いろんなこと、やっています。~函大

函大 佐藤：私は商学科のIT専攻塾に所属しています。授業はITでも、簡単な事から初めてC言語をやっています。



海まるごとサイエンス

海のサイエンティスト 新学科で来春募集開始!



新学科の内容

海洋生物科学科：生命の謎解き

水圏の生物学、特に海洋動物の形態、分類、生態、行動、生活史、進化、多様性を追求し、水圏生物とその生息環境を保全・管理し、水圏生物資源としていつまでも活用し続けるための基礎的事項と最新情報を学びます。海の生物の世界については、多くの生命の謎がまだ隠されています。みなさん、水にすむ生き物の謎解きに挑戦しませんか。そして生命の星・地球と私たち自身の未来を、この学科でじっくり考えてみませんか。

海洋資源科学科：生命を探る

海の生物資源、特に水産資源について、生物の環境、資源の定量化、生産手段や経済・情報などいろんな角度から総合的に水産資源に関わることを目指し、生物、物理、工学、経済学などの基礎科目をベースに、国際協力、産業振興、資源保護、地域貢献の立場から、国際的水産資源の管理、生産、利用にいたる学問を学びます。地球の人口が日々増大する中で水産資源は私たちの貴重な食料源ですが、無限ではありません。水産資源を賢く持続的に利用する方法をこの学科で探究し学んでみませんか。

増殖生命科学科：生命に迫る

将来、私たちにとって十分な食糧を得るためには、おいしくて健康にいい魚貝類や海藻を網いけすなどで大きく育てる「養殖」や、魚貝類の子どもを海に放流し資源を増大させる「増殖」が必要不可欠です。そのため、さまざまな海洋生物の代謝や成長、繁殖、遺伝、各種酵素やホルモン、魚貝藻類の病原菌やウイルス、海洋性細菌などに関する基礎知識を身につけます。

そして、遺伝子組換え技術、受精卵操作、ゲノム解析などの最先端の生命科学を学び、それらを十分に活かして、次世代の人々を豊かにする水産増養殖の分野で幅広く活躍できる人材を養成します。

資源機能化学科：生命を守る

魚類、貝類、軟体動物、海藻などの多様な海洋生物資源を有効に利用するための理論と先端技術を学ぶことができます。海洋生物の資源学や、生化学、栄養・健康性機能の化学、工業原料・医薬品材料としての利用科学、食の安全性確保に関する科学などがあり、これらの学習と実験・実習をとおして、将来、食品、化学、薬品、生物工学、安全管理等の職業領域で活躍できるための専門教育をおこないます。

(函大 佐藤 続)：それと、有志が集まって何か大きな事をしようじゃないか、研究やコンテストに参加など何か必ずやっています。興味のあることをやろうというのがうちの学科で、マーケティングや企業研究もやっています。本当にチャンスがある学科じゃないかなあとは私個人では思っています。

函大 山田：私は英語国際ビジネス学科で、今年できた新しい学科です。英語の教員免許や英語の資格をたくさん取るようにカリキュラムが進められています。留学制度も整っていて、夏休みや冬休みや長期留学ができます。私も先月1か月間イギリスの大学に通ってきました。

谷短 村松：イギリスに行ったって言うんですけど費用はどの位かかったのですか。

函大 山田：費用は、42万円ほどかかるんですけど、テストが行われて上位5名は、半額以上、補助されるという制度があるので、私は12万円で行くことができました。



函館に来て思ったことは？

司会：函館に来ていい事があった、こんなところが良かった、こんなところがつまらん、とかありますか。

北大 藤井：まず、暮らしている人たちと大学の距離が比較的近いなあと思いました。ただ、周りの大学とのつながりがなくて、札幌で経験したような大学生同士の交流が持てないなあと感じていましたし、学生が行きやすいような、意見の交流のできるような場所もあまりないなあと感じていました。

司会：渋谷さん。函館に来てどうですか。

函短 渋谷：函館は建物がかわいい。だからレトロ電車が似合う街だなと。あと、街がとてもきれいだなと思いました。それと車がないととても不便だなあと。

司会：確かに交通網が貧弱かなあというのがありますよね。札幌等に比べると都市機能というのがまだまだかなあという気がしますよね。いろいろ聞いてみたいんですけども、時間がなくなってしまうので。今日は短い時間ですけど話を聞かせていただきまして、本当に有難うございます。またこういう機会が持てればなあと感じております。

学生のみなさん、貴重なご意見ありがとうございました。懇談会では、もっとたくさんの有意義な楽しい意見も出されたのですが、紙面の都合上ご紹介できないのがとても残念です。今後も連携に向け、色々な事業に取り組んでいきたいと考えておりますので、この広報紙をご覧の皆様も是非、ご参加ください。



発行：函館市

編集：公立はこだて未来大学、函館大谷短期大学、
函館工業高等専門学校、函館大学、函館短期大学、
北海道教育大学函館校、北海道大学水産学部、
ロシア極東国立総合大学函館校、函館市

発行年月日：平成17年11月

連絡先：函館市企画部企画管理課

〈所在地〉040-8666 函館市東雲町4番13号

〈TEL〉0138-21-3697

〈FAX〉0138-23-7604

〈E-mail〉kotokyoiku@city.hakodate.hokkaido.jp

〈URL〉<http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/kikaku/kotokyoiku/>